



ほっぷ通信

～児童発達支援～

令和6年2月
No.7
管理者 岩槻愛子

立春を迎え、暖かな日々が待ち遠しいこの頃。皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか。

令和5年8月から、放課後等デイサービスと児童発達支援事業を分離してスタートし半年が経過しました。スペース的には決して広いとは言えない活動室ですが、日々、狭いながらも自然に身体を動かしたくなるような「場、しかけ」づくりに力を注いでおります。それに加えて、公認心理師による発達検査「Vineland-II（ヴァインランドツー）」も開始され、「強み」と「弱み」、適応行動の全体的な水準、IQでは測りづらい困難さ、課題と支援のポイントを探り、専門職の指導の下、支援に活かしていきたいと思っております。

また、新型コロナウイルス、インフルエンザなどの感染症は、県内では年明け以降も増加傾向が続いております。予防対策も気を抜くことなく継続してまいりたいと思いますので、ご家庭でも「手洗い、消毒、換気」等のご協力をお願い致します。まだまだ寒い日が続きますがくれぐれもご自愛ください。



頭足人(どうそくじん)って知っていますか？



幼児の初期の描画に現れる特徴で、「頭足人」は頭(顔)から直接足が生えた絵のことです。

大人から見ると足りないところだらけの「頭足人」ですが、子どもにとっては何の不思議もないそうです。それは大人が「顔」だと思っているものが、子どもにとっては「その人全部(体全部)」だからです。また頭足人が描けるようになったということは人間に手足があるということを理解し始めた証拠でもあります。

ボディイメージが未熟だと、頭から手や足が出てくる頭足人や棒人間になりがちです。自分の身体のイメージ、実感が育ってくると、身体の動かし方が向上するだけでなく、絵も上達してきます。

佐々木作業療法士 来所予定日
2月13日(火)・2月29日(木)
※お子様の発達について質問や相談などがありましたら、お気軽に職員にお声がけください。

1月25日(木)に「ほっとタイム」を開催いたしました。終始笑い声が絶えず、楽しく有意義な時間となりました。大雪に見舞われて道路状況が悪い中、ご参加いただきましたことに心より御礼申し上げます。

特定非営利活動法人セミナーレ ほっぷ
988-0318
宮城県気仙沼市本吉町登米沢24番地1
☎:0226-25-7710
✉:0226-25-7764
FAX:seminare@iaa.itkeeper.ne.jp

おかあさん…わかるかな～

わたしはだ～れだ！



こたえはシールをめくってね！



みんなで目隠しをしない「福笑い」を楽しみました！
普段は目にしないような髪型、様々な色や形のパーツ
を、思い思いに貼り付けて楽しんでいました。

